

単元名

国の政治の仕組み

単元学習前の生徒の認識

民主政治を守るために政党政治や選挙の仕組みがあるが、民主政治を守っていくのはわたしたちであり、一人一人が自分の政治に対する関心を高めて、自分の判断力を高めないといけない。

民主政治を実現するために、私たちはどう参加できるだろうか。

第1時 国会の地位と仕組み

- 【●主体的に学習に取り組む態度
- 知識・技能】

国会は政治の中で、どんな地位や役割を果たしているだろう

☆国権の最高機関 ☆唯一の立法機関 ☆二院制(衆議院・参議院)

国会は国民の生活に関わる重要な話し合いが行われている。そこで国民の意見をより正確に反映できるように、二院制や衆議院の優越といった制度があることが分かった。国民主権を守るために、自分たちにはどんなことができるのか考えていきたい。

第2時 国会の働き【●知識・技能】

国会はどんな仕事をしているだろうか。

- ☆法律の制定
- ☆予算の審議・議決
- ☆内閣総理大臣の指名
- ☆委員会 ☆公聴会 ☆本会議

国会では、国民の生活に関わり、生活を守る法律の制定や税金の使い道、内閣総理大臣の指名等を行っていることが分かった。また、話し合いは、委員会や公聴会、本会議を通して慎重に行われる。

第3時 行政を監視する国会

- 【○知識・技能】

国会と行政はどのように関わっているのだろう。

- ☆行政 ☆条約の承認
- ☆国政調査権 ☆憲法改正の発議

国会は内閣総理大臣を指名したり、行政の活動を監視したりしている。

第4時 行政の仕組みと内閣

- 【○思考・判断・表現】

内閣の役割と仕組みはどのようになっているのだろう。

- ☆行政 ☆内閣 ☆議院内閣制
- ☆国会と内閣の関係

制定された法律や予算の実行をすることを行政という。その行政の指揮監督を行うのが内閣だ。国会と内閣はお互い抑制し合い均衡を保っている。

第5時 行政改革

- 【●思考・判断・表現】

行政における内閣の役割はどのように変化してきたのだろう。

- ☆行政改革 ☆規制緩和
- ☆財政 ☆公務員 ☆全体の奉仕者

行政は、大きな政府として人々の生活を安定させるために様々な行政改革を行っている。

第6時 裁判所の仕組みと働き

- 【○知識・技能】

裁判にはどんな仕組みがあり、どんな意義があるのだろうか。

- ☆法 ☆司法 ☆三審制
- ☆司法権の独立 ☆最高裁判所

裁判は、国民の権利を守り、生活における紛争を解決する。三審制や司法権の独立、法に基づいて公正に裁判を行うために重要な仕組みである。

第7時 裁判の種類と人権

- 【●知識・技能】

日本の裁判にはどんな種類があるのだろうか。

- ☆民事裁判 ☆刑事裁判 ☆令状

裁判には、裁判官・検察官・弁護士がいて刑事裁判と民事裁判がある。社会の秩序を守り、公正で一人一人を大切にしたい裁判を行うような努力が必要だ。

第8時 裁判員制度と司法制度改革

- 【●思考・判断・表現】

なぜ裁判員制度が行われるようになったのだろう。

☆えん罪事件

国民が刑事裁判に参加することで、裁判の内容に国民の視点感覚が反映され、国民の司法に対する理解と信頼が深まる利点があるためだ。

第10時 三権の抑制と均衡 【○知識・技能】

三権分立制に参画するためにどんなことに心掛けていくべきだろう

- ☆三権分立 ☆国民審査 ☆違憲審査制 ☆憲法の番人

三権分立は、国の権力を三権に分け、権力が集中を防ぐ制度で、違憲審査制等の仕組みがあり互いが抑制し合うようにしている。国民は世論や選挙、国民審査などでそれぞれの権力を監督できるようになっている。

第9時 深めよう

～模擬裁判をやってみよう～

- 【○主体的に学習に取り組む態度
- 思考・判断・表現】

裁判員制度には、どんな心構えで参加するとよいだろうか。

有罪か無罪かを判断し、自分の考えをもつことが難しかった。普段から出来事に対する自分の考えをもったり、仲間の考えから学んだりする姿勢が大切だと分かった。

単元学習後の生徒の認識

国民主権を守っていくためには、一人一人が国会や内閣、裁判員制度により行われていることに興味をもち、主権者としての表現力・判断力を高めていくことが必要である。これが民主政治に参加することに繋がっている。

4 単元指導計画

	ねらい	おもな学習活動	評価規準	資料および留意点
1 国会の地位と仕組み	<p>選挙の流れの資料から、国会の地位や役割を理解することを通して、国会により国民主権が守られていることに気付き、近年の選挙投票率低下の実態と関連させて単元を貫く課題をもっている。</p> <p>★国権の最高機関 ★唯一の立法機関 ★二院制 ★衆議院の優越</p>	<p>1 p90¹「国会議員のある1週間」の資料から本時の学習課題を設定する。</p> <p>国会は政治の中で、どんな地位や役割を果たしているのだろうか。</p> <p>2 資料から事実を読み取り、地位や役割について理解する。</p> <p>3 p88『選挙の流れ』と『国会議員選挙投票率』の資料から、本時の学習内容を振り返り、単元を貫く課題を設定する。</p> <p>《単元を貫く課題》</p> <p>民主政治を実現するために、私たちはどう参加できるだろうか。</p>	<p>国民主権を実現するための国会の地位や仕組みについて理解し、近年の選挙投票率低下の実態と関連させて単元を貫く課題を設定することができる。</p> <p>(●知識・技能) (●主体的に学習に取り組む態度)</p>	<p>P90¹「国会議員のある1週間」</p> <p>◇p88, 89『選挙の流れ』 ◇『国会議員選挙投票率』資料</p> <p>国民の政治に参加する意識が低下していることについて考えを交流することで、単元を貫く課題を設定できるようにする。</p>
		<p>国会は国民の生活に関わる重要な話し合いが行われている。そこで国民の意見をより正確に反映できるように、二院制や衆議院の優越といった制度があることが分かった。国民主権を守るために、自分たちにはどんなことができるのか考えたい。</p>		
2 国会の働き	<p>国会の報道資料を読み取る活動を通して、身近にある国会に関わる情報が国会のどんな仕事に関連したものか理解することができる。</p> <p>★法律の制定 ★予算の審議・議決 ★内閣総理大臣の指名 ★委員会★公聴会</p>	<p>1 p92²『予算委員会の様子』を提示する。</p> <p>2 本時の学習課題を設定する。</p> <p>国会はどんな仕事をしているのだろうか。</p> <p>3 資料から事実を読み取り、国会の仕事をもとめる。</p> <p>4 ニュースやインターネットで報道される国会の様子を示した資料を読み取り、どんな仕事に関わるものか関連づける。</p> <p>5 本時のまとめをする。</p>	<p>国民主権を実現するために国会の仕事があることに気付き、報道資料の内容を理解することができる。</p> <p>(●知識・技能)</p>	<p>◇p92²『予算委員会の様子』</p> <p>国会の報道資料の読み取る活動を通して、国会のどんな仕事に関連したものか理解することができるようにする。</p>
		<p>国会では、国民の生活に関わり、生活を守る法律の制定や税金の使い道、内閣総理大臣の指名等を行っていることが分かった。また、話し合いは、委員会や公聴会、本会議を通して慎重に行われる。</p>		
3 行政を監視する国会	<p>国会と内閣のかかわりに関する資料を読み取る活動を通して、行政のどんな仕事を監視しているのか理解することができる。</p> <p>★行政 ★条約の承認 ★国政調査権 ★憲法改正の発議</p>	<p>1 p94¹『内閣総理大臣の指名』を提示する。</p> <p>2 本時の学習課題を設定する。</p> <p>国会と内閣はどのように関わっているのだろうか。</p> <p>3 資料から事実を読み取り、国会と内閣の仕事や仕組みをもとめる。</p> <p>4 ニュースやインターネットで報道される行政の様子を示した資料を読み取り、内閣のどんな仕事をチェックしているのか関連づける。</p> <p>5 本時のまとめをする。</p>	<p>行政の法律や予算に関わる政策などの内閣の仕事を監視していることに気付き、資料の内容を理解することができる。</p> <p>(○知識・技能)</p>	<p>◇p94¹『内閣総理大臣の指名』</p> <p>国会や内閣の資料を読み取る活動を通して、行政のどんな仕事を監視しているのか理解することができるようにする。</p>
		<p>国会は内閣総理大臣を指名したり、予算や法律の作成、条約の承認をしたりするなどの活動を通して、行政の活動を監視している。</p>		

	ねらい	おもな学習活動	評価規準	資料および留意点
4	行政の仕組みと内閣 内閣の資料を読み取る活動を通して、行政のどんな仕事に関連したものか説明することができる。 ★行政 ★内閣 ★議院内閣制 ★国会と内閣の関係	1 p96 ¹ 『内閣総理大臣の仕事と活動』を提示する。 2 本時の学習課題を設定する。 内閣にはどんな仕事や責任があるのだろうか。 3 資料から事実を読み取り、内閣の仕事や仕組みをまとめる。 4 ニュースやインターネットで報道される行政の様子を示した資料を読み取り、内閣のどんな仕事に関わるものか関連づける。 5 本時のまとめをする。	国民主権を実現するために行政の仕事があることに気づき、資料の内容を説明することができる。 (○思考・判断・表現)	◇p96 ¹ 『内閣総理大臣の仕事と活動』 内閣の資料を読み取る活動を通して、行政のどんな仕事に関連したものか理解することができるようにする。
		制定された法律や予算の実行をすることを行政という。その行政の指揮監督を行うのが内閣である。国会と内閣はお互い抑制し合い均衡を保っている。		
5	行政改革 行政における内閣の役割についての資料を読み取る活動を通して、大きな政府として行政改革を行っていることを説明することができる。 ★行政改革★公務員 ★規制緩和★財政 ★全体の奉仕者	1 p98 ¹ ～ ³ を提示する。 行政における内閣の役割はどのように変化してきたのだろうか。 3 資料から事実を読み取り、内閣の仕事や仕組みをまとめる。 4 行政と公務員の役割を示した資料を読み取り、政府と行政改革の内容を関連づける。 5 本時のまとめをする。	大きな政府として行政改革を行っていることを説明することができる。 (●思考・判断・表現)	◇p98 ¹ ～ ³ 政府が大きな政府として様々な行政改革を行っていることに気付くよう指導する。
		行政は、大きな政府として人々の生活を安定させるために様々な仕事を行っている。		
6	裁判所の仕組みと働き 裁判の仕組みに関わる資料を見て内容をまとめる活動を通して、裁判の大切さに気づき、分かったことを書くことができる。 ★法 ★司法 ★三審制 ★司法権の独立	1 p100 ³ 『人の一生と法律』を提示する。また、その司法を担当するのが裁判所であることを知る。 2 本時の学習課題を設定する。 裁判にはどんな仕組みがあり、どんな意義があるのだろうか。 3 資料から事実を読み取り、裁判の仕組みや働きをまとめる。 4 本時のまとめをする。	裁判の仕組み(三審制・司法権の独立)に関し、その大切さについて、分かったことを書いている。 (○知識・技能)	◇p100 ³ 『人の一生と法律』 「三審制」「司法権の独立」「裁判の傍聴」等の仕組みが設けられた理由を考える活動を通して、裁判の仕組みの意義を理解することができるようにする。
		裁判は、国民の権利を守り、生活における紛争を解決する。三審制や司法権の独立、法に基づいて公正に裁判を行うために重要な仕組みである。		
7	裁判の種類と人権 裁判の種類に関する資料を読み取る活動を通して、えん罪を防ぐために工夫していることを理解することができる。 ★民事・刑事裁判 ★令状 ★えん罪	1 p102 ¹ 『刑事裁判』を提示する。 日本の裁判にはどんな種類があるのだろうか。 2 資料から事実を読み取り、裁判の種類や仕組みをまとめる。 3 えん罪を防ぐ工夫について交流する。 4 本時のまとめをする。	公正な裁判が行われていることに気づき、えん罪を防ぐために工夫していることを理解することができる。 (●知識・技能)	◇p102 ¹ 『刑事裁判』 ◇裁判の種類、役割 裁判の種類に関する資料を読み取る活動を通して、公正な裁判が行われていることを理解する。
		裁判には、裁判官・検察官・弁護士がいて刑事裁判と民事裁判がある。社会の秩序を守り、公正で一人一人を大切にしたい裁判を行うような努力が必要だ。		

	ねらい	おもな学習活動	評価規準	資料および留意点
8 裁判員制度と司法制度改革	<p>裁判員制度の仕組みを調べる活動を通して、国民主権を実現するために裁判員制度があることに気づき、ノートにその意義を説明することができる。</p> <p>★司法制度改革 ★国民の視点感覚</p>	<p>1 p 104¹を提示し、裁判員制度という仕組みができたことを知る。</p> <p>2 本時の学習課題を設定する。</p> <p>なぜ裁判員制度が行われるようになったのだろう。</p> <p>3 資料から事実を読み取り、裁判員制度の仕組みや手続きをまとめる。</p> <p>4 なぜ裁判員制度が導入されたのか自分の考えをまとめる。</p> <p>5 仲間と意見を交流し制度の意義を確認する。</p>	<p>国民主権を実現するために裁判員制度があることに気づき、ノートにその意義を説明することができる。</p> <p>(●思考・判断・表現)</p>	<p>◇ p 104¹『裁判員制度評議会』</p> <p>資料から分かったことをもとに、裁判員制度の長所をまとめられるようにする。</p>
		<p>裁判員制度が行われるようになったのは、国民が刑事裁判に参加することで、裁判の内容に国民の視点・感覚が反映され、国民の司法に対する理解と信頼が深まる利点があるためだ。</p>		
9 模擬裁判をやってみよう	<p>事件の有罪・無罪を判断する活動を通して、法に基づいて自分の考えをもったり、様々な見方考え方をしたりする大切さに気付くことができる。</p>	<p>1 p 104¹裁判員制度評議会の資料を振り返る。模擬裁判では評議会のロールプレイングをすることを知る。</p> <p>2 本時の学習課題を設定する。</p> <p>裁判員制度には、どんな心構えで参加するとよいだろうか。</p> <p>3 模擬裁判の進め方について知る</p> <p>4 有罪・無罪について判断した理由を含め、グループで評議(交流)をする。</p> <p>5 評議内容を交流する。</p> <p>6 最終的な自分の考えを書き本時のまとめをする。</p>	<p>事件の有罪・無罪を判断する活動を通して、法に基づいて自分の考えをもったり、様々な見方・考え方をしたりする大切さに気付いている。</p> <p>(○思考・判断・表現) (○主体的に学習に取り組む態度)</p>	<p>◇ p 104¹『裁判員制度評議会』</p> <p>交流の振り返りを通して、様々な見方・考え方があることや自分の考えをもつ大切さに気付くようにする。</p>
		<p>有罪か無罪かを判断し、自分の考えをもつことが難しかった。普段から出来事に対する自分の考えをもったり、仲間の考えから学んだりする姿勢が大切だと分かった。</p>		
10 三権の抑制と均衡	<p>国民の社会参画の低さを解決するための方法を考えることを通して、政治の仕組みの既習内容を関わらせながら自分の考えを書くことができる。</p> <p>★三権分立 ★国民審査 ★違憲審査制 ★憲法の番人</p>	<p>1 p 109³『三権の抑制と均衡の関係』を提示する。</p> <p>2 三権分立に国民はどんな参画方法があるか知り、本時の課題を設定する。</p> <p>三権分立制に参画するためにどんなことに心掛けていくべきだろうか。</p> <p>3 資料から事実を読み取り、三権分立の内容と国民が参画する方法をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最高裁判官の国民審査 ・国会議員選挙 <p>4 実態の資料から国民の政治参画の課題点を知り、それに対し自分が心掛けていくことを考えたり、意見を交流したりする。</p> <p>5 本時のまとめをする。</p>	<p>国民の社会参画の低さを解決するための方法を考えることを通して、政治の仕組みの既習内容を関わらせながら自分の政治参画の心構えを書くことができていく。</p> <p>(○思考・判断・表現)</p>	<p>◇ p 109³『三権の抑制と均衡の関係』</p> <p>それぞれに対する自分の考えをまとめ、交流することで、政治参画に対する考えを焦点化できるようにする。</p>
		<p>三権分立は、国の権力を三権に分け、権力が集中を防ぐ制度で、違憲審査制等の仕組みがあり互いが抑制し合うようにしている。国民は世論や選挙、国民審査などでそれぞれの権力を監督できるようになっている。</p>		